

お手にとって頂きありがとうございます。平田真実と申します。
市議会議員は税金の使い道について議論し、議会でその可否を最終決定しています。

作成日 2021/10

議員の報酬も市民の皆様の税金です。

よって、見える議員活動を目指すことは責務であると考えており、
限られた部数ではありますが、特定の方に向けた活動ではなく、

市民の皆様へ少しでも議員の活動が伝わるよう、

自主作成・自費発行・自らの足で、ポスティングしています。

経費削減の為、封筒等は使用せずポスト投函させて頂きます。

ご理解の程よろしくお願い致します。



市立幼稚園の今後について



これまで幼稚園の今後について議論されてきたが、議会では「市立幼稚園2園の統廃合をすぐに考えるということはない」という答弁で終わっている。しかし、園舎や設備が老朽化し、耐震化も進める必要がある状況に加え、園児が年々減少する中で、2園を改築・改修し、維持することは本当に現実的か？また、幼稚園のあり方検討委員会で様々な意見を集約しておられるとのことであるが、内容は？

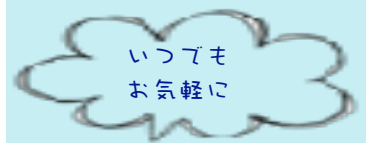
園児数が減少し、集団による教育の効果が十分に発揮されないことが懸念される状況であるため、長期的な視点で幼稚園教育のあり方を総合的に検討する目的で委員会を設置した。主な検討内容は大きく次の3つ。

- ①園児数が減少する中での幼稚園教育の必要性とその意義
- ②3年間の幼稚園教育や一時預かり保育の必要性
- ③園舎の老朽化と幼稚園教育の人的・物的環境整備の必要性

認定こども園化が進む中で、幼稚園教育の必要性について議論を進めてきたが、市としては幼児教育の重要性を改めて認識するとともに、夢と希望の教育を具現化する幼稚園のニーズはあると判断している。その上で、3歳児を含めた3年間の幼児教育や一時預かり保育へのニーズが高まりも考慮する必要があると考えている。新たな幼稚園の構築に向け、議論を加速させる。

園舎や施設設備が老朽化し、時代に合わない部分も見られるようになってきている。今すぐ危険という状況ではないが、幼稚園の耐震化も進める。3歳児教育を行うことの出来る時代の変化に対応した施設設備のあり方についても議論をしていく。

最終的な決定事項ではないが、2園をそれぞれ建て替え直すということはやはり無理があると考えている。幼稚園のあり方検討委員会の中間報告としても、どちらか1つの園を残すという意味合いではなく、新たな幼稚園として、市内に1つの幼稚園を堅持していくという方向性を出している。



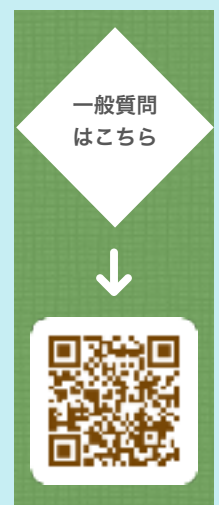
メールやSNSのメッセージ等で、小野市内での生活のお困りごとなど、幅広くご意見をお受けしています。

お問い合わせ先

hiratamami0128

@gmail.com

メール等でやりとりをさせて頂いたのち、直接お会いする必要がある場合は、ご相談させて頂きます。



他の議員の質問もぜひご覧ください。QRコードが反応しない場合は、YOUTUBEで、「小野市議会」と検索

らんらんバスの介助者の利用料金について提言しました



これまでらんらんバスの利用料は、障がいをお持ちの方の介助者の利用料金について明記されていませんでした。ハンディキャップを抱える方々の移動支援には充分配慮すべきです。これまで障害者手帳に「バス介護付」と記載がある方のみ介助者1名を無料としていたとのことですが、今後は記載の如何にかかわらず介助者1名は無料でご乗車頂けるようにされるとのことです。ご利用の際、運転手に障害者手帳をご提示頂き、介助者であることをお伝え頂きましたらご対応くださいます。



私の所属する会派、つぐ未来では勉強会を重ねています。先日は障害平等研修を通し、障害とは何か、障害はどこにあるのかなど改めて学ぶ機会を頂きました。

障がい当事者の方による
発見型の研修です



その研修ののち、

自分たちでまず出来ることをしてみようと、

市役所駐車場から6階の議場エリアまで車椅子で移動してみるという体験会を会派で行いました。



このような学びの機会を経て、今回の一般質問で取り上げた「らんらんバスの介助者の利用料金について」の提言に繋がりました。当事者目線で考えるということは本当に大切なことだと思います。当事者目線で考えるために自分自身が実際に体験すること、そして、共感してくれる方を増やすこと、増えることが世の中により良い変化をもたらすのだと実感しました。

つぐ未来では、引き続き様々な内容の勉強会を行って参ります。研修内容についてもお気軽にぜひご提案ください。

